

秋の里山自然観察会と熱帯植物のお話

花ごよみ
2023.11.1

小田原近郊の里山で
出会った植物



諏訪の原公園は遠くに大山を望み
足柄平野が広がる気持ちの良い公園
秋の植物の花と実の観察ができた。
観察風景⇒



近年の秋の野原ではセイトカアワダチソウと
ススキのせめぎあいが続いている。最近ではススキが優
勢だとか！セイトカアワダチソウ最近すくなくなった
かなあ…



コセリダングサの花と実・キク科



アキノノゲシ・キク科



タンキリマメ・マメ科



ヨメナ・キク科



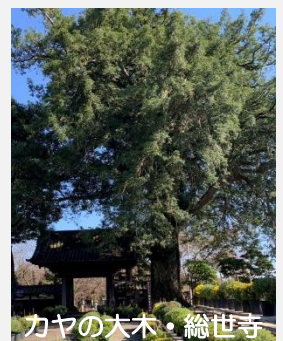
ヨウシュヤマゴボウ
ヤマゴボウ科



コスモス・キク科



ユッカ・青年の木 開花は十数年に1度
ラッキー！！



カヤの大木・総世寺



モッコク・モッコク科



アキノシ・ニレ科



ソヨゴ・モチノキ科



ナンキンハゼ
トウダイグサ科

小田原フラワーガーデン温室



蔓を巻き付けて高く伸びあがる
ブーゲンビリア・オンロイバナ科



タビビトノキ・オオギバショウ
ゴクラクチョウ科
のどが渇いた旅人を茎の下部にため
た水で潤したとか

温室の中では、色鮮やかで、珍しい形の花や実の熱帯植物の世界が広がっている。それらはすべて厳しい環境の熱帯の森の中で長い進化の過程を経たうえでの植物たち興味深い姿です。熱帯の森は地球上の30%から40%の酸素を供給してくれます。また多くの生物が生存し、薬用資源、遺伝子の資源としても多くの可能性を秘めているといわれています。



パンノキ

丸い実を焼くとトーストの香り！

コロンブスもアメリカ大陸への航海時に

食料にしたそうです。葉はハワイアンキルトのデザインに利用



多くの気根を延ばして宿主の木に
とりついていく。日光獲得戦術の一つ

クワ科・イチジクの仲間



着生植物・ピカクシダ
ウラボシ科



幹生果・ピリンビ



ブラックキャット

タッカ・タシロイモ科
ホワイトキャット



パパイアの果実・パパイア科



ハナアナナス・パイナップル科
パイナップル科の花は可愛くて
色がステキ！！



アリストロキア
ウmanoszusukusako
馬の鈴草・実が馬の首に
つける鈴に似てるから

夜に匂いを出して夜に活動する虫を引き寄せる食虫植物・奇妙な形

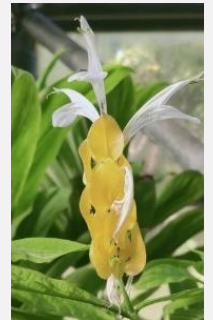


ウツボカズラ
ウツボカズラ科

葉が変形したもの。袋の中に消化酵素液をため虫を取り込み溶かし栄養とする食虫植物。生き残り作戦の一つ



温室では色鮮やかな花や実との出会い



パキスタキスルテア



カトレア・ラン科



ハイビスカス・アオイ科



センネンボク・コルディリネ



ツンベルギア
キツネノマゴ科

草や木々は春や夏からの姿を変え、秋にはとりどりの実をつけ私たちを楽しませてくれます。季節の移り変わりに様々な表情を見せてくれる植物その変化には目が離せません。熱帯植物の温室では初めて見る花の色や造形の不思議に歓声が上がりました。また説明も皆さん熱心に聞いてくださりとてもうれしい一日でした。 by eiko 20023/11/17